

熊川救急隊が配備されたが、熊川地区における救急車運行の問題点は

乙津 豊彦 議員

質問 熊川地区には狭い道路や鉄道ガード、橋の下のトンネルなどが残っているが、救急車運行におけるバリアとなる箇所はあるか。救急車の長さ、高さ、幅を伺いたい。

市長 熊川五丁橋前交差点西側の八高線高架下が高さ制限により通行できないので、わらつけ街道か武蔵野橋南交差点を経由するとのことである。救急車は全長569cm、高さ284



▲福生消防署熊川出張所に配備された救急車

一般質問 (要旨)

市政のここが聞きたい

今定例会では、17人の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。質問方式は3種類の選択制で、一括方式、一問一答方式、併用方式(一括と一問一答の併用)のいずれかを議員が選択し、質問しました。概略の掲載は一問とし4ページから5ページに掲載しました。一般質問の項目は6ページにすべて掲載してあります。詳しくは、5月中旬発行予定の会議録を市役所情報コーナー及び図書館でご覧いただくか、福生市ホームページからご覧ください。なお、この一般質問の掲載内容は、質問議員に確認してあります。

自衛隊移駐に伴い物品調達等市内業者参入の状況はどうか

大野 聡 議員

質問 12月定例会以降の横田基地への航空総隊司令部移駐の状況はどうか。また、それに伴う物品調達等への市内業者の参入状況を伺いたい。

市長 司令部庁舎へ備品等が搬入されており、最終的な移駐人数は約760名の予定。自衛隊の委託する売店は、クリーニング店が当市業者に決定したようだが、物品等の調達に関しては、入札参加申請案内が府中基



▲航空総隊司令部庁舎

4年間の市政運営について5つの元気事業の評価と今後の予定は

申田 金八 議員

質問 5つの元気事業の評価は。また、今後の事業推進に向けて5月の市長選挙へ再度出馬する意思はあるのか。

市長 5つの元気事業については、市民に約束したすべての事項に着手し、事業化できたことでまちづくりに貢献できたと思っているが、やるべきことはまだまだあるとの思いから、再出馬の決心をし、ここに立候



▲まちなかおもてなしシテーション「くるみるふっさ」

健康維持、増進施策はどのような移り変わりできたか

武藤 政義 議員

質問 高齢化、生活習慣病の増加を受け、さまざまな健康維持、増進施策がなされてきたが、その移り変わりについて伺いたい。

市長 平成18年に「健康ふっさ21」を策定し、健康づくり推進員による活躍が広がり、20年度から特定保健指導が始まり、保健事業として胃がん等無料検診項目も増加、21年度には他市にはないヘルスチェック事業



▲健康ふっさ21

入札制度における市内業者の登録状況と契約手続き、落札割合は

町田 成司 議員

質問 入札等での物品購入の契約における市内業者の登録数や契約行為の内容、落札割合を伺いたい。

市長 公正、透明性を確保し、市内業者を優先的に選定している。電子調達登録は67社、小規模契約事業者は34社で、60万円以上は契約管財課が入札等を行い、10万円未満は各担当課が事務を行っている。総務部長 物品購入における市内



▲東京電子自治体共同運営電子調達サービスホームページ

市内小・中学校を英語教育特区に

末次 和夫 議員

質問 「基地のまち」の負のイメージを逆手に、英語教育が充実したまちとして、英語教育特区を導入してはどうか。子育て世代の定住化にもいい影響を与えるのではないかと、小・中学校の円滑な接続のために指導法の研究を進めていく。

教育長 研究課題の一つとしており、当面は小学校の外国語教育が楽しく、異文化等への関心が高まるよう指導内容や教材等の工夫を進めるとともに、小・中学校の円滑な接続



▲使用している英語教科書

大規模災害への備えとして自主防災組織の位置づけと帰宅困難者対策は

柳川 英司 議員

質問 自主防災組織の行政における位置づけは。また帰宅困難時の市内業者、事業者との連携について、東日本大震災の教訓を生かした対策としてどのように考えているか。

市長 大地震時は行政による公助は対応が遅れると言われており、共助である自主防災組織こそが大きな力となると考えている。また帰宅困難者対策として市では食糧、毛布な



▲自主防災リーダー講習会

「横田基地の歴史」をもっと社会科副読本で教えては

岩崎 百合子 議員

質問 私もそうであったが、滑走路は横田基地のためにつくられたと思っている子どもは少ない。社会科副読本では、それが当たり前であることを子どもに知らせる必要があると思うが、編集方針を伺いたい。

教育長 子どもたちが市への理解を深め、郷土愛を育むことができるようにすることを目指して編集しているが、横田基地周辺のことは調べ



▲福生市と横田基地

定住化につながる施策として学校給食無料化実施の考えは

池田 公三 議員

質問 福生市の子ども世代と子育て世代で人口流出が続いている。思い切った対策をとらなければならない。学校給食費の無料化は、少子化・人口流出対策として、全国的にいくつかの自治体ですでに実施されている。子育て世代を力強く励ます学校給食費の無料化についての考えを伺う。

教育長 基本として、食材費は保護者負担、その他は公費ということ



▲第2給食センター